

# 有料老人ホーム青空

## 令和2年度 事業計画

### 1. 事業計画の方針

- (1) 法人理念の浸透と職種の壁を超えた組織創り
- (2) 職員の人材改革（専門職研修による人材育成）
- (3) 安全・安心を重視したサービスの提供
- (4) 理念に基づいた支援・介護基本の継続的な活用の取り組みを行う

重点目標（運営方針：心に響くケアの推進より）

- ① 施設長を中心にリーダー・他部署との連携、協力体制の確立。
- ② 各職員の資質に合わせたアセッサー評価の実施及び内外部研修内容の充実と実施。
- ③ 利用者・家族の声に耳を傾け介護・看護職員が共有してケアを進める。
- ④ 三大介助（食事・排泄・入浴）質の向上及び個別支援内容の向上。
- ⑤ ご家族の声に耳を傾け、情報提供強化を行い相互の信頼関係を維持する。
- ⑥ 入居者様の生きがいの発掘（外出支援・趣味のボランティアの受け入れ）。

### 2. 施設運営

- ① 有料老人ホーム事業
  - ・ 17名入居稼働率95%以上の確保。
  - （空きがある時は短期入居者を受け入れ・居宅介護支援センターとの連携を強化する）
- ② 利用者の健康管理
  - 年間行事
    - ・ 内科検診（毎月2回）
    - ・ 健康診断（年間1回）
    - ・ インフルエンザ予防接種（11月）
- ③ 主な年間行事

月	行事	月	行事
4月	お花見	10月	アンケート実施
5月	端午の節句	11月	ハロウィン
6月		12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	年賀式
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会	3月	おひな祭り

遠足は不定期で実施予定

## ④ 食事と栄養管理

- ・管理栄養士による献立表の作成。
- ・体調に応じての食事形態の対応をとる。
- ・個別援助計画を通じ外食の機会を設ける。

## ⑤ 衛生管理

- ・食事介助にかかわる職員は月に1回検便検査を行う。
- ・感染症対策委員会を中心に手洗い・うがいの実施を推奨するとともに感染症について社内研修を行う。

(感染予防の為12月～3月まで職員にマスクの着用をさせる)

(ノロ・インフルエンザウイルス流行前の周知徹底)

- ・食前後の消毒・手すり・ドアノブのジ亜塩素酸での消毒を行う。
- ・1ケア1手洗いの徹底をする。
- ・排泄介助時の予防着着用の徹底をする。

## ⑥ 安全管理

- ・車椅子やシルバーカーなどの定期的な点検実施。(週1回)
- ・利用者の座る椅子・テーブル等の不具合の点検。(月1回)
- ・施設内の危険箇所等の気づきを呼びかける。(随時)

## 3. 職員処遇

## ① 職員構成

	常勤	常勤兼務	非常勤
管理者		1	
主任		1	
生活相談員		2	
計画作成担当者		1	
介護職員	4	2	7
看護職員	1		1

\*調理員(栄養士、委託)4 事務員(兼務)1

## ② 職員健康管理

- ・職員健康診断実施：夜勤者年2回(5月・11月)日勤者 年1回(11月)
- ・細菌検査(検便)：毎月

## ③ 職員会議

- ・毎月実施・・・全体会議、職場会議、感染症会議、交流会議、リーダー会議  
ケア会議、給食会議、ナース会議、衛生会議
- ・随時実施・・・身体拘束廃止会議、安全対策会議、

## ④ 職員研修

- ・職員の資質、能力に合わせて年間研修計画を作成し外部研修へ参加する。
- ・内部研修会の企画・運営・実施を組織的に行う。

#### 4. 施設管理

##### ①事務、設備関係

- ・施設管理課による有料ホール床清掃 月1回
- ・害虫駆除 年2回
- ・電気設備点検 月1回
- ・浄化槽点検 月1回
- ・エレベーター点検 月1回

#### 5. 災害対策

##### ①避難訓練、防災設備の点検、非常食の備蓄

- ・災害避難時の避難訓練（毎月）を行う。
- ・防災設備の点検を行う。（年間2回）
- ・非常食糧の備蓄をする。（毎年備蓄量を確認、記録）
- ・年2回、消防署合同の施設総合防災訓練を実施する。

#### 6. 利用者家族に向けて

##### ①個別面談

- ・利用者の身体状況に応じて、早めの状況報告実施を行う。
- ・ご家族来所時に相談員・看護師・介護支援専門員から近況報告を行う。
- ・家族からの求めに応じて随時個別面談の機会を持つ。

##### ② ケアプラン説明

- ・介護支援専門員、生活相談員より日頃の様子を交えてプランの説明をする。
- ・請求書と共に1ヶ月の介護記録・医療記録のコピーを送付する。

##### ③ 家族会等

- ・青空便りの発行 毎月1回
- ・家族会の開催 年間1回
- ・家族へのアンケート 年間1回

#### 7. 地域との連携

- ・小諏訪地区で開催される作品展（2月）に出展し参加する。
- ・片浜小中学校、金岡中学校の職場体験受け入れを行う。
- ・沼津市主催の敬老会へ参加する。
- ・ボランティアの受け入れを積極的に行う。
- ・地域住民に向けた認知症カフェの開催（企画・立案・運営）を行う。（月1回）  
（地域高齢者支援の窓口としての機能が果たせるよう活動を継続）

#### 8. 資金計画

- ・通常の運営経費は、介護給付費・利用者負担金収入等でまかなう。

- ・事業活動収支差額 5%を本部に繰り入れる。